開館5周年記念企画展

土佐のやきもの 御庭焼

ODO-YAKI

土佐の土、
土佐の火、
土佐の技。
370年の命脈。

令和4年
3/18 金曜日
～
5/30 月曜日
会期中無休

高知県立高知城歴史博物館 3階 特別展示室

《開館時間》午前9時～午後6時（日曜日は午前8時～午後6時）※展示室への入室は閉館の30分前まで
《観覧料》700円 高校生以下無料（団体20名以上560円／高知城とのセット券900円）
●高知県・高知市長寿手帳所持者は無料●身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、戦傷病者手帳、被爆者健康手帳所持者と介護者（1名）は無料●観覧券は当日のみ有効（年間観覧券は除く）
《主催》高知県立高知城歴史博物館

尾戸焼茶碗　18～19世紀　当館蔵（撮影：小笠原敏孝）

高知県立
高知城歴史博物館
Kochi Castle Museum of History

開館5周年記念企画展

土佐のやきもの 尾戸焼

ODO-YAKI

承応2年（1653）、土佐藩外からの焼物の流入を抑え、国産化を図るという明確な目的の下、高知城下・尾戸の地に開かれた陶窯「尾戸焼」。大坂から招いた久野正伯、その弟子森田久右衛門ら名工に恵まれ、藩主の強力なテコ入れもあって茶人の間で高い評価を得ました。

江戸時代後期には、磁器需要の高まりに応じ、郊外の能茶山に窯を移し、磁器の生産にも乗り出します。原材料の確保、良工の育成、販路の拡大…。現代にも通じる苦難の数々。そして明治維新による民営化、工業製品の普及による陶磁器需要の変容…。

この展覧会では、これらの困難を乗り越え、現代まで続く尾戸焼の歴史をご紹介します。茶道具や置物などの伝世品100点を展示し、多様な技法をご覧頂くと共に、文献、出土遺物を通して、尾戸焼の姿に迫ります。

1

2

3

4

5

6

7

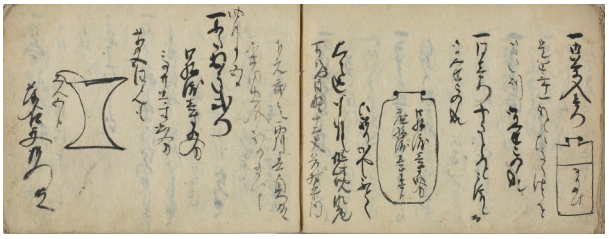
8

9

10

11

12


13

1. 屋頂宝珠※（宗安寺蔵）　2. 尻膨茶入　3. 饕餮文象嵌香炉
4. 葉形皿　5. 瓢形皿　6. 扇形皿　7. 栗原家旧蔵片口水指
8. 松竹双鶴図輪花形茶碗（以上当館蔵）
9-12. 尾戸窯跡出土遺物（高知市蔵）
13. 森田久右衛門日記※（森田芳博氏寄託）
※は高知県指定有形文化財
1 画像提供：高知県立歴史民俗資料館
2〜8 撮影：小笠原敏孝

関連企画① 尾戸焼でほっと

会期中、喫茶室では尾戸焼の器を楽しめる特別メニューを販売。展覧会を見た後は、尾戸焼のカップで、お城を見ながらほっと一息。この機会にぜひ、目と手と舌で尾戸焼を味わってください。

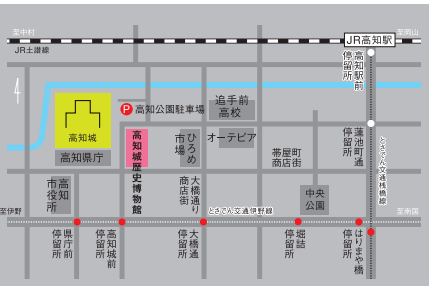
《日時》令和4年3月18日（金）〜5月29日（日）
《会場》当館2階 珈琲館イストワール
営業時間：9時〜17時（日曜日は8時オープン）
定休日：月曜日（祝日の場合は翌火曜日）

関連企画② スライドレクチャー

企画展担当者が尾戸焼の歴史と魅力を語ります。

《日時》会期中、毎月さいごの日曜日 10:30〜11:00
（令和4年3月27日、4月24日、5月29日）
《会場》当館3階 土佐史探索室
《参加費》無料（要観覧券／申込み不要）
※参加者多数の場合、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、先着順とする場合があります。

高知県立
高知城歴史博物館
TEL.088-871-1600　FAX.088-871-1619
〒780-0842　高知県高知市追手筋2-7-5
https://www.kochi-johaku.jp/
kochi_johaku　johaku.kochi　kochi_johaku

お車をご利用のお客さま
高知自動車道高知ICから約15分。一般来館用の駐車場はございません。高知公園駐車場など周辺の有料駐車場をご利用ください。
※障害者用駐車場(2台)あり。

JRをご利用のお客さま
JR高知駅からとさでん交通路面電車（はりまや橋方面行き約5分）はりまや橋下車、乗り換え（鏡川橋または朝倉またはいの方面行き約5分）、高知城前下車、徒歩3分。